



2024 ルール変更概要

陸上競技

変更元	変更後
変更前の内容	新しいカバー写真に差し替え、フッターの改訂日を2024年10月にすること
<p>3.2.4 立ち幅跳び</p> <p>3.2.4.1 試技に入る際は、定められた踏切線より後ろの地面に両足を置いてから踏み切る。踏切板の様子は走幅跳の踏切板と同じとする。アスリートは踏切板の上で試技を開始しても良い。</p> <p>3.2.4.2 距離はすべて、アスリートの身体または衣服が残したうち最も近い痕跡から踏切線までの垂線を計測する。</p> <p>3.2.4.3 可能であれば、立ち幅跳び競技の着地エリアは砂を敷いたジャンプピットで実施することを強く推奨する。マットを使用する場合は、踏み切りエリアと着地エリアの両方を含むのに十分な長さで、滑り止めの為に、地面に安全に固定する必要がある。</p>	<p>変更/追加: 競技手順を明確にするために変更</p> <p>3.2.4.1 競技者は、試技に入る際に、両足で踏切線から踏み切る。<b>踏切線は、着陸エリア(ピット)の近い方の端に設置する。</b></p> <p>3.2.4.2 <b>踏切線は、色付きのテープでマークするか、滑走路面に白線で恒久的にマークすることができる。</b></p> <p>3.2.4.3 <b>競技者は、定められた踏切線より手前からすべての試技を開始する。</b></p> <p>3.2.4.4 踏切時は両足を使う。アスリートはつま先とかかとを交互に上げて全身をゆすっても構わないが、どちらか一方でも足を地面から完全に離してはいけない。</p> <p>3.2.4.5 距離はすべて、アスリートの身体または衣服が残したうち最も近い痕跡から踏切線までの垂線を計測する。マットを使用する場合、すべての計測は、競技者の身体または衣服のいずれかの部分が接地した最も近い地点から、踏切線または踏切線の延長線まで行うものとする。すべての計測は、踏切線またはその延長線に対して垂直に行うものとする。</p> <p>3.2.4.6 可能であれば、立ち幅跳び競技の着地エリアは砂を敷いたジャンプピットで実施することを強く推奨する。マットを使用する場合は、踏み切りエリアと着地エリアの両方を含むのに十分な長さで、滑り止めの為に、地面に安全に固定する必要がある。</p>



<p>3.7 視覚障害と聴覚障害のあるアスリートのための一般ルール</p> <p>3.7.1 視覚障害のあるアスリートには、ロープの使用を許可したり、伴走者をつけ、アシストすることが可能である。</p> <p>3.7.2 目が見える伴走者は、いかなる方法であってもアスリートより先に出てはならない。伴走者は、決してアスリートを引っ張ったり、押すことで進ませたりしてはならない。</p> <p>3.7.3 視覚・聴覚、両方の障害があるアスリートには、体を軽くたたいてスタートを知らせる。</p> <p>3.7.4 伴走者は、アスリートと明確に区別するため、明るいオレンジ色のベストを着用しなくてはならない。このベストは大会運営委員より支給される。</p> <p>3.7.5 聴覚障害のある選手のスタート信号は、スタートフラッグの形で視覚信号、または選手を叩く触覚信号で役員が行う必要がある。最初のヘッドコーチ会議で各コーチがその必要性を示す必要がある。</p>	<p>変更/追加: 用語と視覚信号の変更</p> <p>3.7 視覚障害と聴覚障害のあるアスリートのための一般ルール</p> <p>3.7.1 視覚障害のあるアスリートには、ロープの使用を許可したり、伴走者をつけ、アシストすることが可能である。</p> <p>3.7.2 目が見える伴走者は、いかなる方法であってもアスリートより先に出てはならない。伴走者は、決してアスリートを引っ張ったり、押すことで進ませたりしてはならない。</p> <p>3.7.3 視覚・聴覚、両方の障害があるアスリートには、体を軽くたたいてスタートを知らせる。</p> <p>3.7.4 伴走者は、アスリートと明確に区別するため、明るいオレンジ色のベストを着用しなくてはならない。このベストは大会運営委員より支給される。</p> <p>3.7.5 聴覚障害のある選手のスタート信号は、スタートフラッグの形で視覚信号、または選手を叩く触覚信号で役員が行う必要がある。<del>最初のヘッドコーチ会議で各コーチがその必要性を示す必要がある。</del></p>
<p>3.8 ユニファイドスポーツ® リレーの一般ルール</p> <p>3.8.1 ユニファイドスポーツ®リレーは、1チームにアスリート2人とパートナー2人で構成される。</p> <p>3.8.2 各リレーチームの走者の順番は自由に決められる。</p>	<p>追加/変更: 能力と年齢の要件を概説する文言を追加</p> <p>3.8 ユニファイドスポーツ® リレーの一般ルール</p> <p>3.8.1 ユニファイドスポーツ®リレーは、1チームにアスリート2人とパートナー2人で構成される。</p> <p>3.8.2 各リレーチームの走者の順番は自由に決められる。</p> <p>3.8.3 <del>ユニファイドリレーは、アスリートとユニファイドパートナーの比率は、アスリート2人に対してユニファイドパートナー2人でなければならない。</del></p> <p>3.8.4 <del>アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の年齢が必須であり、リレーでは、アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の競技能力が望ましい。同程度の年齢と能力に関する詳細については、スポーツルール第1章総則14.1.2を参照のこと</del></p>



<p>3.9 ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技の一般ルール</p> <p>3.9.1 スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技のルールは、ワールドアスレティックス (World Athletics) とスペシャルオリンピックス公式スポーツルール陸上競技に則って運営される。ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技は学校、団体、クラブやサークルで競技会を行う機会となり得る。ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技会は、ユニファイドチーム間で競い合う個別の種目である。この種目はユニファイドスポーツ®陸上競技会と実施することや、スペシャルオリンピックスの通常の競技会の中で実施することができる。</p> <p>3.9.5.7 リレー種目のチームはスペシャルオリンピックス・アスリート2名とユニファイドパートナー2名からなる。走順はコーチが決定する。</p>	<p>3.9 ユニファイドスポーツ® チーム陸上競技の一般ルール</p> <p>3.9.1 スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技のルールは、ワールドアスレティックス (World Athletics) とスペシャルオリンピックス公式スポーツルール陸上競技に則って運営される。ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技は学校、団体、クラブやサークルで競技会を行う機会となり得る。ユニファイドスポーツ®チーム陸上競技会は、ユニファイドチーム間で競い合う個別の種目である。この種目はユニファイドスポーツ®陸上競技会と実施することや、スペシャルオリンピックスの通常の競技会の中で実施することができる。</p> <p>3.9.2 ユニファイドチーム競技では、チームの登録数はアスリート10人とユニファイドパートナー10人で構成されなければならない。</p> <p>3.9.3 チーム競技の場合、アスリートとユニファイドパートナーは、同程度の年齢と同程度の競技能力でなければならない。同程度の年齢と能力に関する詳細については、スポーツルール第1章総則14.1.2を参照のこと。</p> <p>3.9.5.7 リレー種目の<del>チームはスペシャルオリンピックス・アスリート2名とユニファイドパートナー2名からなる。</del>走順はコーチが決定する。</p>
--	--